

基礎学力部

本年度の取り組み

- ・基礎学力向上を目的として、朝学習（算数タイム、国語タイム）を計画的に実施した。問題は埼玉県学力学習状況調査の結果から分析した学年ごとの課題に合わせて「コバトン問題集」等から選定した。長期休業日を活用して準備した。
- ・思考力、活用力の向上を目的として、チャレンジタイムを設定し実施した。適切な問題集を選定し、計画的に取り組んだ。
- ・学校全体で取り組むことを決め、実施した。
 - 国語 ①短作文づくり・・・一文から二段落構成（条件付き作文）で書けるようにする。
 - ②視写・・・・・・・・説明文のみ実施。
 - 算数 ①計算タイム・・・四則計算を週2～3回、5分間で実施する。

成果

- ・国語タイム、算数タイムの実施で、基礎的・基本的な問題を繰り返し取り組むことができた。
- ・チャレンジタイムの実施により、児童が発展的な問題に取り組む機会を増やすことができた。特に学力が上位の児童が、楽しみながら活用力を身に付けることができた。また、初めて見る問題にも抵抗なく取り組めるようになってきている。

児童の様子

絵があってわかりやすい。読みやすく、読む力がついた。楽しい。
初めてやる問題がたくさんあってよい。難しい問題にも慣れてきた。
全部文章問題なので、文章問題が苦手な人も慣れるからいい。

- ・夏休みに近隣の高校生や中学生に学習ボランティアとして来てもらい、算数部と連携して、算数の補習教室を実施した。対象人数を絞り、きめ細やかな指導を行うことができた。

課題

- ・チャレンジタイムの時間内に終わらない児童が見られるので、どのように最後まで見届けるか、見届けの方法を検討する必要がある。
- また、答え合わせや解説の時間をどのように確保していくかを検討する。
- ・充実したチャレンジタイムにするために、問題を再検討していく。